

子どもを危険にさらすパラリンピック観戦の中止を！ 緊急署名をよびかけ 3日間で1513筆



緊急署名の結果を記者会見で発表する党市議団（8月20日）

千葉市がパラリンピック学校連携観戦を決めた17日、日本共産党市議団は「無謀であり中止を」と申し入れました。教員や保護者などからは、「まさか実施するとは」「やめさせて」など多くの意見・要望が寄せられました。

そこで党市議団は、緊急署名を提起し「中止の声を広げよう」と呼びかけたところ、わずか3日間で1,513筆集まりました。さっそく署名を提出するとともに、記者会見を行い、市民の不安の声などを紹介し、子どものパラ観戦中止を訴えました。

署名にご協力を



← パラリンピック学校観戦
中止を求める
ネット署名はこちら
第2次は8月24日に提出しました

第3次〆切は8月31日(火)
党中部地区委員会に15時まで

【連絡先】日本共産党中部地区委員会
043(276)3341
【署名送付先・FAX】党市議団控室
043(245)5585



この議会報告の裏面にも署名用紙が印刷してあります

パラリンピック学校連携観戦プログラム強行に抗議する

千葉市は25日、多くの保護者や学校関係者から中止を求める声が寄せられたパラリンピック学校連携観戦プログラムを強行しました。日本共産党千葉市議団は、新型コロナ感染拡大や、入院もできない状況下で子どもたちを感染のリスクにさらすことを強行したことに強く抗議しました。

感染した場合の責任は不明確であり、子どもへの感染が増大した場合、家庭内感染を広げ、

コロナ収束を遠ざけるものとなりかねません。

日本共産党千葉市議団は、子どもたちの命と健康を最優先にすべきとの立場から、8月31日からの小学校におけるパラリンピック観戦中止を求め続けるとともに、感染が深刻化するなかで、夏休み以降の子どもたちの学びの保障と命を最優先とした対策を実現するために奮闘する決意です。